

Osaka Metro まちさんぽ

大日駅
120分
コース

谷町線 大日駅

淀川左岸の森の口・守口

森の口に開けた村落と寺社を訪ねて

古代、淀川の土砂が堆積した低地の森を開いて集落が形成されました。守口は「森の口」が由来だとか。奈良時代に行基が河川を整備して以来、河川交通の要衝となりました。駅から少し遠くまで歩いて佐太郷、大窪郷の歴史を伝える寺社を訪ねます。



スタート駅	約 120 分										ゴール駅
谷町線 大日駅 ③号出口	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	谷町線 大日駅
	白山神社・大日村	京街道・佐太樋跡	佐太天神宮	来迎寺	佐太陣屋跡	菅相寺	津嶋部神社	妙楽寺	旧中西家住宅 (もりぐち歴史館)	梶遺跡	

平安・鎌倉時代になると朝廷や寺院・武家などの荘園が集まり、領地争いが絶え間なかったのですが、村落の人々は豊かな水を利用して農業を発展させました。佐太郷は江戸時代に京街道が整備されると街道の間宿として賑わいました。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお参加ください。

森の口に開けた村落と寺社を訪ねて

古代、淀川の土砂が堆積した低地の森を開いて集落が形成されました。守口は「森の口」が由来だとか。奈良時代に行基が河川を整備して以来、河川交通の要衝となりました。駅から少し遠くまで歩いて佐太郷、大窪郷の歴史を伝える寺社を訪ねます。



谷町線大日駅③号出口

谷町線大日駅

1 白山神社・大日村

江戸時代の大庭三番村・四番村・六番村が明治19年(1886)に合併して大日村になりました。白山神社は大日村の氏神で、もとは白山妙理大権現神社という名称で少し離れたところにあり、明治維新で移転しました。祀られていた白山権現は神仏習合の神で、真言密教の根本仏・大日如来と結びついて、村名になったものと思われます。本殿は江戸中期の建立で、鳥居には正徳5年(1715)の銘があります。



2 京街道・佐太樋跡

淀川に沿って土手を行く道は今に残る京街道です。淀川から用水を引き込んでいた「佐太樋跡」の碑が国道沿いにあります。現在でも淀川の水を水道水として大阪府内の市町村に供給している大庭浄水場がすぐ近くに見えます。



3 佐太天神宮

このあたりは古来、佐太郷と呼ばれて河川交通の要衝でした。佐太天神宮は菅原道真が太宰府に流される途中、係船したところとされ、道真公自身の自刻像をご神体としてお祀りしたのが創建です。境内に水鏡池があり、道真が池に自分の姿を映して自画像を描いたといわれています。参道に「間の宿佐太」の碑、用水路の北側に「淀川筋佐太渡船場」の碑があります。



4 来迎寺

南北朝時代の1347年、下仁和寺庄守口村に**実尊誠**阿上人によって開かれたのがはじまりです。南朝の後村上天皇の勅願寺となったので北朝の足利義満から圧力を受けたとされています。寛保3年(1743)にお石という名前の幽霊が現れ、住職の回向を受けて成仏しましたが、そのときに残した「幽霊の足跡」とされるものが伝わっています。



5 佐太陣屋跡

貞享4年(1687)に領主・永井高庸が来迎寺に隣接した土地に佐太陣屋(役所)を建てました。蔵屋敷もあり、年貢米納入、特産物集積、大坂との取引や金融業務も担っていました。

6 菅相寺

平安時代中期、佐太天神宮の神宮寺として創建され、当初は真言宗でしたが、淀藩主となってここを領有した永井尚政が曹洞宗に改宗させました。本堂は慶安4年(1651)に永井家が再建しました。



7 津嶋部神社

『延喜式神名帳』に記されている由緒ある神社で、このあたり大窪郷7村(金田村・北村・梶村・東村・藤田村・黒原村・対馬江村)の氏神です。祭神の津島女大神は女性神で、安産・育児の守り神として尊崇されています。現在の社殿は明治15年(1882)に再建されたものです。



8 妙楽寺

もとは天台宗でしたが洪水で流出した本堂を江戸初期に**一室知三**阿上人が再建して浄土宗になりました。境内には樹齢約300年、枝張り7mのオオムラサキ(ヒラドツツジ)があり、大阪府の天然記念物に指定されています。



9 旧中西家住宅(もりぐち歴史館)

中西家は、室町時代末期にこの地に移り住んで大窪郷を開いたといわれています。主屋の棟札によると寛政5年(1793)に中西与一右衛門が第三建として建て替えたと記されています。中西家は尾張徳川家と姻戚になり、尾張藩大坂天満蔵屋敷奉行を代々務めました。敷地を濠で囲んでいたこともあり、主屋や大門などは中世土豪をしのばせる貴重な建物です。(入場料:一般200円)



10 梶遺跡

古代から中世に至る複合遺跡で、3基の古墳が発見されています。河内湖畔の遺跡と考えられ、標高3.6mという低湿地から古墳が見つかるのはめずらしい例として注目されました。平成元年(1989)に守口市営住宅の建替え工事で発見されました。



梶2号墳の埴輪(守口市立図書館郷土資料展示室)

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2022年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行: **Osaka Metro**
 協力: 一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
 後援: 歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。
<https://www.osaka-asobo.jp> または **大阪あそ歩** で検索

ご注意
 ※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
 ※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。
ご案内
 ※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。



駅スタンプ押印欄